

ま ち の 話 題

豊岡

第4回新春ファミリー音楽祭 仲良し家族 全員集合!!



▲観客も一体となり、楽しく、和やかな時が流れるステージ

1月16日、新春ファミリー音楽祭が、豊岡市民プラザで豊岡市ホールスタッフクラブと市の共催で開催されました。

この音楽祭は、さまざまなイベントで音響や照明、舞台づくりなどを支援している同クラブ員が専門技術を磨きたいと始めました。

当日は、親子や小さな姉妹、夫婦デュエット、祖父母から従兄弟までの大家族も登場。ピアノ、ピアノニカ、ギター、三味線、太鼓などの演奏や歌、衣装にも趣向を凝らし、個性溢れるステージで家族の絆も披露しました。

外は大雪でしたが、ホールの中はほのぼの、気持ちまで温かくなりました。

城崎

三世交代交流会

人と人との触れ合いを 深めよう

1月24日、城崎大会議館で「三世交代交流会」(豊岡市商工会青年部城崎支部主催)が開催されました。

地元の高齢者、商工会青年部、中学生の三世代に渡る参加者が、かるた大会や福笑い、ハンドベル演奏を通して交流を深めました。

中でも、ハンドベル演奏では、班ごとの課題曲「涙^{なだ}そうそう」「明日があるさ」などを、みんな楽しんで教え合っていました。

同会青年部城崎支部地域振興委員長の寺川大紀さんは、「地域内での交流を深める取組みは、形は変わっても、来年以降も続けていきたい」と話していました。



▲ハンドベルの練習に取り組む高齢者、商工会青年部、中学生

竹野

県民交流広場事業 じゃんぼ巻き寿司大会 みんなの思いが 1本につながった!



▲途中で切れないようにみんなでタイミングを合わせて寿司を巻く参加者ら

1月30日、中竹野ふるさと館(竹野町轟)で、じゃんぼ巻き寿司大会(中竹野地区公民館主催)を開催し、143人が参加しました。

この催しは、今年で5回目。巻き寿司の「料理教室」として企画したことがきっかけとなり、毎年、節分の前に実施しています。

会場では、同地区の食の健康運動リーダーいずみ会や生活研究グループの方々の指導のもと、参加者らが心を合わせて26・92メートルもの巻き寿司を見事に完成させました。

参加した釜本拓光君(中竹野小3年)は「具がこぼれそうだったけど、うまく巻けた。食べるのが楽しみ」と話していました。

日高

日高冬山遭難救助訓練

スキーヤーなどの遭難に備え 関係機関が合同救助訓練！

1月27日、神鍋高原スキー場奥神鍋ゲレンデで冬山遭難救助訓練が行われ、地元消防団、豊岡南警察署、奥神鍋スキーパトロール隊など約40人が、豊岡消防署の指導を受けました。スキー客などがさつそうと滑るゲレンデ横での訓練は、スキーヤーが雪崩に巻き込まれた想定で行われ、消防団員らは、捜索時の注意点を聞きながら、埋没者(人形)の捜索・掘出し・救助などに真剣に取り組みました。

日高消防団団長の長岡健美さんは「毎シーズン、救助体制を組んでいる。神鍋で楽しんでもらうためにもお客さんに注意を促しながら事故防止に努めたい」と話していました。



▲自ら雪に埋もれ(雪の重さを体感)、救出を待つ

出石

文化財防火デー消火訓練 貴重な文化財と尊い命を 火災から守る!!

1月23日、文化財防火デー消火訓練を、出石町東條の宗鏡寺および願成寺境内で行いました。昭和26年1月26日に、法隆寺金堂壁画が焼損したことから、この日が文化財防火デーに定められ、市でも毎年、この日の前後に消火訓練を実施しています。

訓練は、宗鏡寺付近の山林から出火したとの設定で、住職と檀家の方が消火器で初期消火を行い、次に東條区の自主防災組織、豊岡市出石消防団、豊岡消防署出石分署が消火活動の連携を確認しました。宗鏡寺住職の小原游堂さんは「文化財の有無に関係なく人命を奪う火災から地域を守りたい」と話していました。



▲一斉に放水を行う出石消防団員と豊岡消防署出石分署の消防士ら

但東

但東子育てセンター「豆まき会」

どんな悪い鬼がいるかな？ みんな退治しよう!!

節分を翌日に控えた2月2日、但東子育てセンターで「豆まき会」を開催し、但東地域内外から44人の親子が参加しました。

最初に、指導員から「節分には、無病息災・家内安全を願い、悪い鬼を追い払い、福をもたらすよう豆をまきます」と由来を聞き、紙芝居を見ました。そして、赤鬼・青鬼とともに「鬼のパンツ」のダンスを踊ったり、鬼のダンスを見たりしていたその時、「今度は本物!?」の鬼が登場。みんな豆を投げ付けて退治しました。子どもたちは、怖くて涙をにじませながら「鬼をやっつけたよ」「鬼さんバイバイだね」と誇らしげに話していました。



▲こわごわ鬼に豆を投げ付ける子どもたち。鬼もたじたじ